

紙芝居による民話の伝承と発信

荇田町 民話紙芝居「地童座」【公立公民館】代表 山路 みゆき

1. 事業名 「紙芝居による民話の伝承と発信」

2. 事業の目的

荇田町に伝わる民話を郷土史を調べ、お年寄りから聞き取るなどしたものわかりやすい紙芝居に仕立て、皆様方にお伝えをしていく活動をしています。

ふるさとをより身近に、そして親しみをもってもらいたいという思いで、取材から脚本、絵の制作に至るまで、すべてメンバーで手がけています。

3. 事業の実施主体

民話紙芝居「地童座」

4. 連携・協力機関・団体等

荇田町教育委員会、荇田まちづくりカレッジOB会

5. 実施に至る経緯

民話紙芝居「地童座」は、荇田町公民館講座「荇田まちづくりカレッジ」から生まれたグループです。この公民館講座は、通称「荇カレ」と呼ばれ、内容は2年間にわたって町のことや町づくりの基礎知識を学ぶもので、終了時には卒業論文のかわりに荇カレで学んできた成果として、これからの町づくりに対する思いを発表するというものです。

ここで私どもは、地元で伝わる民話の紙芝居を発表しました。それは学ぶ中で、荇田町には古墳や遺跡が数多く残っていること、そしてそこにはそれにまつわるお話があることを知りました。ひと昔前までは、地元で伝わる話を縁側でお年寄りが子供達を集めて聞かせていたものでしたが、今はもうそんな光景も見なくなりました。このままでは地元で伝わる話を知る人がいなくなってしまう。ならば受講生である我々が受け継ぎ、語り継いでいこう、ひいてはそれが私たちの住んでいる、暮らしている町への再発見になるのではないかという思いからでした。そして荇カレ二期生の卒業式（2008年）に「地童座」を結成しました。

6. 事業の内容

上演場所は、公民館やイベント会場、子育て支援の一環である子どもひろばなどで

行っています。

私どもの活動は、紙芝居を見てくださいる方がいて初めて一回の上演が成立します。その積み重ねで今回148回を迎えることができました。今では、民話のみならず、外国の方に好評を得た英語バージョンや知的障害の男の子を主人公にしたものなど、現在28作品ほど仕上がっています。

【公民館まつり】



【子どもひろば】



【自治区敬老会】



【いきいきサロン】



【飛鳥IIおもてなしイベント】



【国際交流ひろば】



7. 事業の成果

(1) 民話紙芝居と並行して社会性のある作品の作成

- ・知的障害の男の子を主人公にした「カカシとロボット」
人は皆、その人しか出来ない優れたものを持っているという内容の作品です。
- ・飲酒運転撲滅のために作成した「もしそれが私だったら」
飲酒運転撲滅の講演を続けている福岡の山本美也子氏のご協力を得て作成し、公民館人権講座で山本氏の講演とともに実演しました。

(2) 英語版紙芝居の作成

苅田町は国際交流の盛んな町なので、外国の方にも日本古来の紙芝居を楽しんで頂こうと英語版の紙芝居4作を作り、公民館講座の国際交流ひろばで披露しました。自転車に舞台を設けた上演は、外国の方から好評を得ました。



(3) DVDの作成



前期の作品20作をDVD集に仕立て、苅田町立図書館や各公民館に寄贈しました。また、東日本大震災で苅田町から職員を派遣した宮城県岩沼市立図書館にも寄贈しました。

地元の話掘り起こし伝えていく活動は、より広がりを見せています。

8. 今後の課題

- (1) 活動の場をいかに広げていくか。
- (2) 苅田町に愛着を持ってもらうために、一人でも多くの人に地元の話を知ってもらいたい。
- (3) 将来の苅田町を担っていく子ども達に伝える活動を続けていきたい。

【地童座のメンバー】



問い合わせ先

〒800-0392 京都郡苅田町富久町1丁目19番地1 (苅田町役場生涯学習課)
民話紙芝居「地童座」 TEL 093-434-2044